

〇〇先生は、今度は来てくれますか？

発行：附属教育実践総合センター
2008年 12月24日

今回は、甲府市立石田小学校と笛吹市立浅川中学校を訪ねてみました。どちらの学校でも、梨大生の皆さんが、笑顔で子どもたちと向き合っていたことがとても印象に残りました。訪問させていただいた学校の先生方、学生の皆さん、子どもたちからの声の一部を紹介します。

現場の先生方からの声

- ☆長くいられる学生さんほど児童との交流が深まっているようです。
- ☆教職を志す学生の皆さんにとっては、学校現場を直接見ることで有意義だと思います。
- ☆音楽専攻の学生さんからは、創作力比べの楽譜について専門的なアドバイスを受けることができ大変有意義でした。
- ☆学生ボランティアの皆さんは、実に優しく丁寧に対応してくれますので、生徒もいろんな事を聞きやすく、頼って積極的に教えてもらおうとするような大変良い関係を結んでいます。
- ☆学生さんにとっても、いろいろな生徒がいることを認識してもらい、様々な個性にどう対応するかを体験する機会としても、意義のあることを感じます。
- ☆教師の卵としての学生さんたちを育てる意味でも大事にしたい制度だと思っています。
- ☆TTで授業に入ればそれはまた大きな勉強になると思います。・・・etc



◇TT授業 石田小学校にて



○写真撮影、御協力ありがとうございました。



◇放課後学習支援 浅川中学校にて



重要なお知らせです

子どもたちからの声

- ☆教えてもらって前よりリコーダーが吹けるようになってうれしかった。
- ☆「〇〇先生＝学生ボランティア」は、今度は来てくれますか？

学生の皆さんからの声

- ☆来年控えている教育実習のために、現場の雰囲気や子どもとの対応を学びたい。
- ☆（教育）実習前に行っておくと、子供の実態や児童観が想像しやすくなると思います。
- ☆小学校の教師になりたいので、少しでも多くの現場を見ておきたいという気持ちからボランティアをすることにしました。
- ☆問いかかけの仕方や話の聞き方などを中心とする生徒の接し方に注意するようにしています。言葉づかいや字の書き方に配慮しています。
- ☆教師にとって知識や技術は当然必要であるが、「何よりも〇〇を伝えたい」という熱い思いや信念が必要であると感じました。
- ☆生徒が何を考え、行動しているのかを、日々のコミュニケーションの中から少しでも理解できたのは一番大きく学べたことです。

教育ボランティア未登録の方は、大至急センター事務室へ 平成21年1月9日まで

山梨大学 教育ボランティア委員会